

ふれあいの橋の会

REPORT さかい

百日草（ヒャクニチソウ）

と き 2026年7月16日（木）10:00～

訪問先 デイハウスあがりみち、グループホームあがりみち 境港市上道町 2087-2

出席者 【委 員】 川口 昭一、中本 勝、植田 建造、遠藤 博江、遠藤 恵子

【さかいエリア】 足立 敬史 （さかいエリア総合施設長）

藤本 健 （介護老人福祉施設新さかい・みなと幸朋苑 施設長）

南前 裕修 （デイハウスあがりみち 管理者・係長）

西村 知香 （グループホームあがりみち 管理者・主任）

【法人本部】 荒井 祐二 （監 事）

Sakai Area Report



左：デイハウスあがりみち 右：グループホームあがりみち

■さかいエリアの現況

開会（荒井）：今日は、小規模多機能型居宅介護事業所の「デイハウスあがりみち」と「グループホームあがりみち」を見学していただきます。はじめに、7月1日付けの異動で さかいエリアの総合施設長に就任した足立敬史さんに挨拶をお願いします。

足立総合：こうほうえんの勤務歴は38年になります。さかい・よなご・なんぶ幸朋苑で、介護職、相談員、管理職を経験した後、法人本部（経営企画部長・研修人材部長）で勤務していました。法人全体の状況は理解しているつもりですが、今後は現場の詳細について把握していきたいと考えています。これまで培ってきたエリアの運営を踏まえつつ、改善を進めてまいります。ふれあいの橋の会の委員の皆様のご提言を運営に生かしていきたいと考えています。よろしくお願い致します。

荒井監事：続いて、新さかい特養とみなと特養の施設長を兼務の藤本施設長から新さかいエリアの近況を報告してください。

藤本施設長：新さかい幸朋苑は、今年で開設20周年を迎えます。地域交流として恒例となっています「納涼祭」は、今年も上道8区自治会と合同で、8月22日（土）17時から開催したいと準備を進めています。今年は20周年を記念し、特色のある内容となるよう企画したいと考えています。



▲ 法人研究発表会の内容を報告する南前係長



熱心に聞き入る ふれあいの橋の会の皆さん

荒井監事：さかいエリアの「ふれあいの橋の会」は、従来の施設見学に加え、法人の取り組みを皆さんにお知らせしたいと考えています。今回は、毎年開催しています**法人研究発表会**でデイハウスあがりみちの職員が発表した内容を報告します。（南前係長からパワーポイントのスライドショーで報告がありましたが、紙面の都合で要約します。詳細は別添ファイルをご覧ください。）

■法人研究発表会の報告（独居生活者の環境改善）

南前係長：デイハウスあがりみちでは、登録者の半数以上が独居生活者であり、その割合は年々増加傾向にあります。特に、長年独居生活を送っていると、生活スタイルが固定化し、他者からの支援も快く受け入れることができない状況になります。このようなケースに対し、どのようにアプローチをし、環境面の改善に繋ぐことができるか、取り組みの結果を報告します。

（事例対象者）74歳男性、要支援2、既往歴：うつ病、高血圧症、腰部脊柱管狭窄症。
家族関係：配偶者なし、市外に姉がいるが訪問頻度や関わりは少ない。室内は、大量の衣類や書類で溢れ、テーブルにはタバコの吸い殻、薬や小銭が散乱。紙パンツが床に脱ぎ捨てられている。職員が訪問し、支援をしようとしても、そのままでいい、構わないでと消極的であった。

（取り組み内容）①信頼関係の構築・・・困っていることを丁寧に聴き取る。②チーム職員での改善策の検討・・・衣装ケース、小物入れ、汚物入れなど収納ボックスを用意。③市主催の事例検討会に提出・・・姉の協力を得てはどうか、本人への励ましが必要と助言を受ける。

（結果）姉の協力も得て、室内がすっきりと整理整頓された。本人の笑顔も増え、「これも捨ててください」と自らが発言するようになった。

（考察、まとめ）困りごとのへの対応で**信頼関係が築かれ**、部屋がきれいになったことで**喜びに繋がった**。姉の協力と励ましの声掛けが結果を生んだ。一時的な改善とならないよう関係性を維持していきたい。

荒井監事：報告を受けましたので、委員の皆さんから質問をお願いします。

遠藤恵子委員：現在は要支援2ということですが、生活改善で要支援から対象外になりそうですが、どうですか。

南前係長：長年の生活スタイルの癖がありますので、元に戻らないよう支援が必要です。足の状態が悪化していますので介護度が上がる可能性があります。

植田委員：お姉さんの協力が功を奏した事例だと思います。身内の声は聴きますからね。継続して支援することが必要なケースです。

遠藤博江委員：私は民生児童委員をしていましたが、高齢者の皆さんは孤独な人が多く、声掛けはとても大事です。特に独居生活者の場合は、**地域みんなで支える**ことが重要だと思います。 ②

■事業所の現況・課題

荒井監事：では、各事業所の現況、課題等について、管理者から報告してください。

南前係長：デイハウスあがりみちについて、報告します。私は、管理者とケアマネジャーを兼務しています。

小規模多機能型施設として、平成19年10月に開設し、来年には20周年を迎えます。通い、訪問、泊まりの3つの機能に加え、ケアマネジャーが同一事業所で対応できる施設です。登録者数：24名、その内独居生活者：12名、平均介護度：2.0、薬の飲み忘れがある人への訪問、遠方家族が多く、6名の病院受診の同行、今後も独居生活者が増加する傾向にあります。外出行事では、花回廊や紫陽花の鑑賞、ゴビウスへのドライブ。地域交流では、近隣の保育園と交流をしており、百日草を保育園と共同で種から育て花壇で育成しています。保育園行事にも参加しています。8月22日（土）開催の納涼祭に向けて準備を進めています。今年も職員による大漁太鼓メンバーとして出演します。皆さん、お出かけください。

西村主任：グループホームあがりみちについて、報告します。今年4月から管理者をしています。2ユニットで男性2名、女性16名、平均年齢：84歳、平均介護度：2.8、若年性認知症の人が2名入居されています。他の事業所と比較し、身体面や認知症状で支援が必要な人が多いと感じています。現在2名が特別養護老人ホームへの入居申し込みをされていますが、身体状況に合った生活環境への住み替えを検討しています。こうほうえんでは、ユマニチュードの取り組みを強化しており、推進委員を配置し、研修や事例検討会などで職員の浸透を図っています。近隣のあがりみち保育園、ひまわり保育園との交流を継続しており、百日草の共同栽培や行事に参加しています。入居者の皆さんも園児との交流は、とても楽しみにされています。ボランティアについても広く受け入れたいと考えています。



グループホームでは、職員と一緒に調理



ゲームを楽しむご利用者

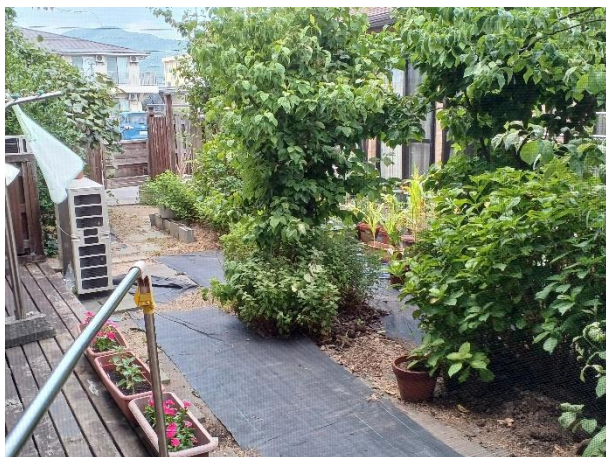
遠藤博江委員：上道公民館では、介護予防の百歳体操を開催していますが、グループホームの入居者にも参加いただいています。体操後には、カフェも開いていますので、交流の輪が広がっています。

植田委員：中庭には樹木が多いので、ボランティアで剪定作業をお手伝いしています。今年はまだ実施していないので、近日中に予定します。

遠藤恵子委員：コロナ禍前は、上道婦人会で歌や踊り、手品などを披露していました。地域との交流は大事だと思います。

荒井監事：新さかいエリアでは、避難訓練を毎年実施していると思いますが、今年はどうですか。

南前係長：今年は、5月31日（日）に上道自治会と合同で、避難訓練を実施しました。炊き出し訓練も実施し、多くの参加がありました。



中庭の樹木の様子



洗濯物をたたむ作業

■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内外を見学いただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

植田委員：中庭に防草シートが敷き詰められていたので、雑草が生えない状態になっていました。樹木は毎年剪定しないとすぐに枝葉が広がります。こまめな剪定作業が必要です。近日中にボランティアで来苑します。

遠藤博江委員：今回の訪問時には、男性の職員が活躍されており、女性とは違う雰囲気がありました。職員のそれぞれの個性が出ることはいいと思います。

川口委員：グループホームでは、入居者が職員と一緒に調理をされていました。日々の生活の中で、能力を活かすことは生きがいに繋がり、大事だと思います。

西村主任：おかずはレオックで調理したものが届きますが、入居者がお手伝いをする場合があります。今日はみそ汁を作っていたと思います。洗濯物をたたむ作業も取り合いになることがあります。グループホームは、共同生活の考えが基本で、できることをしていただいています。

川口委員：建物は年数と共に、経年劣化します。デイハウスとグループホームが廊下で繋がっていますが、傷みやすい箇所です。状況を見ながら、修繕などを計画するといいかと思います。

南前係長：ご助言ありがとうございます。今後ともご協力をお願いします。

中本委員：新聞を読んでいますと、介護職の人員不足が深刻化しているようです。また、老々介護の時代で、離職して自宅介護を選択する人も多いようです。こうほうえんでは、どのように対応していますか。

足立総合：新規学卒者の採用が年々減少しています。境港総合技術高校の福祉科の卒業生が、こうほうえんに入職していますが、YMCA米子医療福祉専門学校が介護福祉科を廃止するなど、人材不足に繋がっています。一度、県外に出た学生が帰って来るのは少ないです。中途採用は一定程度ありますので、維持できているかと思います。こうほうえんでは、60歳を超えても継続雇用していますので、こうした人材にも助けていただいています。家族介護によって退職につながらないよう努めています。

荒井監事：養和病院の医師が往診されていると思いますが、現状はどうか。

西村主任：精神科の医師と看護師に定期的に訪問診療をしていただいています。若年性認知症の人を中心に、診療を受けています。



荒井監事：新さかいエリアでは、地元自治会と合同で、避難訓練や納涼祭などが開催されており、とても良いことだと思います。また、近隣の保育園との交流も活発で、入居者やご利用者に寄り添った対応ができていると感じています。人材不足の時代に入っていますが、職員の連携を密にし充実したケアに努めてください。

藤本施設長：今日は、貴重な提言をいただき、感謝しています。今後ともご支援ご協力をお願い致します。

荒井監事：次回は、**8月20日（木）10：00～ 訪問看護、訪問リハ、ホームヘルプ**を予定しています。



活発に意見交換をする出席者